

研究課題 (テーマ)		射水市の公共施設等における多言語対応状況に関する調査	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	教養教育センター 及び 山崎英語塾	准教授 英語教育改革ディレクター	山崎 大介
研究結果の概要			
<p>本研究においては、主として、本学が所在する射水市の公共施設等における多言語対応状況に関する調査を行い、単に調べただけで終わりにするのではなく、そこで見つかった課題などの解決に向けた「行動」まですることを目標として、以下のようなことに取り組んできた。</p> <p>射水市にある公共施設及びその他の機関や施設等のインターネット・ホームページを調査</p> <p>射水市にある観光施設等の実地調査及びインタビュー</p> <p>射水市にある観光施設等のインターネット・ホームページを英語に翻訳及び校正作業など</p> <p>国際的なイベントにおけるボランティアなど</p> <p>射水市役所の方々による「射水市の観光振興」についてのご講演及び質疑応答など</p> <p>射水市内にある観光施設等の関係者の皆様との会議など</p> <p>実際、本学学生が主体となって地域のことについて調査し、地域の皆様方との話し合いなどを通じた交流等を経験することにより、当初の目標が達成されたと思われる。実際、自分たちが学ぶ富山県立大学のある射水市のことでまったく知らなかった部分を見つけることができ、問題等を抱えているということなども認識した。そして、課題解決に向けて取り組むという過程を踏むことにより、さらに射水市が住みやすい街に変化していくのではないかと期待が生まれてきたと思われる。</p>			
今後の展開			
<p>本学は、「富山県の発展をめざした県民の大学」を建学の理念のひとつとして掲げており、今後もできるかぎり地域貢献をする所存である。</p>			